TIM Logger for スマートフォン v1.1

この度は TIM Logger for スマートフォン(以下、「TIM Logger」と呼びます)のダウンロード、誠にあ りがとうございます。 TIM Logger は株式会社ティンバーテックからお買い上げ頂いた機器を、有効 にお使いいただくために開発された、 Android[™]携帯(以下、「スマートフォン」と呼びます)用ソフト ウェアです。 TIM Logger は GPS 受信機とレーザー距離計、 それぞれを組み合わせた測定に対応 しています。

目次

- 1. インストール
- 2. 使い方
- 3. 設定
- 4. GPS 測定の手順
- 5. レーザー距離計測定の手順
- 6. CSV出力
- 7. より良い環境でご利用いただくために
- 8. FAQ (よくあるご質問)
- 9. 免責

1. インストール

 スマートフォンのブラウザを起動し、下記 URL の WEB ページを表示します。WEB ページの 下側に表示されている「使用承諾書に同意する」を押します。

http://www.timber.co.jp/dl2/timlogger/agreement.html

- 次に表示された WEB ページの下側に表示されている「ダウンロード」を押します。
- ③ スマートフォンの画面にて、ダウンロードファイルを開くかどうかを確認する画面が表示されたら、「インストールマネージャ」もしくは「インストール管理」を選択すると、アプリケーションのインストールを確認する画面が表示されます。もし、ダウンロード履歴が表示された場合は、ダウンロードしたファイルを選択します。もし、「インストールがブロックされました」というメッセージが表示された場合には、FAQをご参照ください。
- ④ スマートフォンの画面にて、アプリケーションのインストールを確認する画面が表示されたら、 「インストール」を押します。

2. 使い方

TIMLogger は大きく2つの測定機能があります。一つは「GPS 測定」、もう一つは「レーザー距離 計測定」の2種類です。各測定共に作業を行う場合は記録ファイルを作成、もしくは過去の測定 データを開き、作業画面でデータを測定、記録していきます。

測定作業の大まかな流れは次のようになります。

GPS 測定

- ① 測定 ··· GPS 位置情報の平均化、もしくは手入力。
- ② 登録 ・・・ メモの入力、リストへの登録。
- ③ 測定終了 ・・・ ファイルへの記録、CSV ファイルへの出力。

レーザー距離計測定

- 定方法の決定・・・
 座標のみの測定か、コンパス測量(トラバース)での測定かを決定します。
- ② 測定 ・・・ レーザー距離計、もしくは手入力で斜距離(D)、高低角(V)、方位角(H)を入力。コンパ ス測量では前視点、放射点のみ計測可能です。終点は開放、閉合、放射が登録可能

です。

- ③ 登録 ・・・ 座標計算、メモの入力、リストへの登録。
- ④ 測定終了 ・・・ ファイルへの記録、CSV ファイルへの出力。

となります。

3. 設定

各測定作業を実施する前に設定をしておく必要があります。

ライセンスキー

GPS 測定、レーザー距離計測定を利用するために設定しておく必要があります。ライセンス キーの申請および発行方法については、FAQ をご参照ください。

GPS 受信機

- ① 機器の設定 ・・・ 測地系とアンテナ高標準値の設定を行います。
- ② 接続の設定 … GPS 受信機との通信設定を行います。

レーザー距離計

- 機器の設定 ・・・磁気偏差、器械高及び目標高標準値の設定を行います。
- ② 接続設定 ・・・ レーザー距離計との通信設定を行います。

接続テスト

設定した GPS 受信機、レーザー距離計とBluetooth 通信ができるか確認するための機能です。Bluetooth 通信については、FAQ をご参照ください。

4. GPS 測定の手順

GPS 受信機を使用した位置情報記録の手順は次のようになります。

- ① 「GPS 測定」から「新規」または「開く」で、記録ファイルを指定します。
- ② 「接続」を押して、GPS 受信機と通信を開始します。
- ③ 現在のGPSアンテナ高を設定するためには、「ファイル」メニューの「機器 GPS 受信 機」を選択します。
- ④ 「GPS情報」を押すと、現在の受信状態を確認します。受信状態の安定が確認できたら 「戻る」を押して、GPS情報画面を閉じます。
- ⑤「GPS測定」ボタンを押すと、位置の平均計算が始まります。任意の回数平均を取得した

ら「OK」ボタンを押して位置を確定します。

- ⑥ 測定位置についてのメモを入力し、「座標リストへ登録」を押すと、その位置情報が登録されます。登録された位置情報を確認するには、「座標リスト」を押します。
 - 座標リストの中から、あるデータを選択し、登録したデータの確認や削除が行えます。
- ⑦ 点につき③~⑥を繰り返し、位置を記録していきます。
- ⑧ 測定が終わったら、「ファイル」メニューの「終了」を選択し、計測情報をファイルに保存します。

5. レーザー距離計測定の手順

レーザー距離計を使用した位置情報記録の手順は次のようになります。

- 「レーザー距離計測定(トラバース測定)」もしくは「レーザー距離計測定(座標測定)」から「新規」または「開く」で、記録ファイルを指定します。新規作成の場合は出発点座標を 指定します。
- ② 「接続」を押して、レーザー距離計と通信を開始します。
- ③ 現在の機器の設置状況を設定するためには、「ファイル」メニューの「機器 レーザー距 離計」を選択し、器械高および目標高を調整します。
- ④ レーザー距離計で目標点を計測します。正しく計測ができると自動的に D,V,H が入力さ れ、X,Y,Z が計算されます。
- ⑤ 測定位置についてのメモを入力し、「測定点リストへ登録」ボタンを押すと、その情報が登録されます。
 - 座標測定の場合は、登録オプションで「器械点移動」があります。このチェックを入れた場合は、登録と同時に器械点が登録した場所へ移動します。
 - ▶ トラバース測定の場合は、登録オプションで「放射点」があります。このチェックを入れた場合は、その点は放射点として登録されます。
 - 測定点リストの中から、あるデータを選択し、登録したデータの確認や削除、編集、 器械点移動(座標測定の場合)などの操作が行えます。
- ⑥ 各点につき③~⑥を繰り返し、位置を記録していきます。
- ⑦ トラバース測定の場合は、登録オプションで「終点(閉合点)」もしくは「終点(結合点)」が あります。このチェックを入れた場合は、その点は終点として登録されます。

⑧ 測定が終わったら、「ファイル」メニューの「終了」を選択し、計測情報をファイルに保存します。

6. CSV 出力

「ファイル」メニューの「CSV 出力」にて、CSV ファイル形式で出力すれば、測定結果をエクセル で編集や計算を行うことができます。なお、記録ファイルや CSV ファイルは、SD カード内に保存 されます。

7. より良い環境でご利用いただくために

当社では TIM Logger の上位機能をもつソフトウェア、「GeoSketch」を販売しております。 GeoSketch は、 TIM Logger の基本機能はもちろんのこと、図形として確認する機能や測定精 度、面積計算、編集、様々な形式でのデータ出力などが行えます。 TIM Logger を使いこなせま したら、ぜひとも GeoSketch の購入をご検討ください。

GeoSketch <u>http://www.timber.co.jp/product/tim/gs.html</u>

8. FAQ(よくある質問)

よくあるご質問は、下記 URL の WEB ページの「TIM Logger for スマートフォン」をご参照ください。

http://www.timber.co.jp/support/support_contents.html

9. 免責

TIM Logger を使用した際に生じた、直接的および間接的に発生した如何なる問題も株式会社 ティンバーテックは保証致しません。また、下記の URL のソフトウェア使用承諾書の記載事項も ご確認ください。

http://www.timber.co.jp/dl2/timlogger/agreement.html

更新履歴

2011/12/16 初版 v1.1